

辻政信 つじ まさのぶ 舊陸軍軍人。明治二十五年十月十一日石川縣生れ（二十九歳）。昭和六年陸軍大學校卒。關東軍參謀となり、モンハン事件を指揮、その後も幕僚として南方作戦に活動。戦後戦犯容疑解除と共に、姿を現はし、二十七年衆議院議員、二十四年參議院議員。二十六年東南アジア旅行中行方不明となり、四十三年死に宣告。

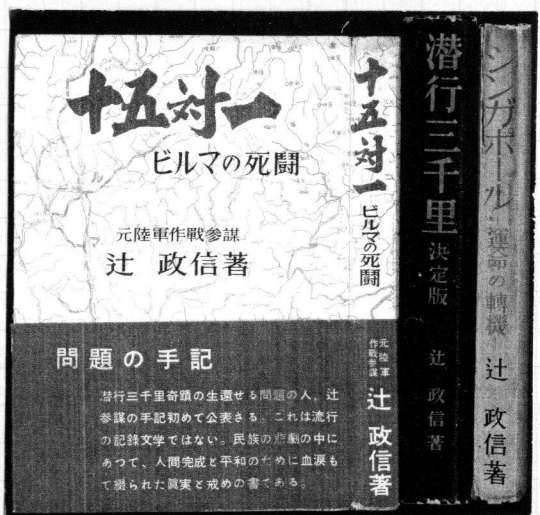
著書『十五對一—ビルマの死闘』（昭和二十五年四月二十九日 岫燈社）、『潜行二千里』（昭和二十五年六月十日毎日新聞社。『潜行二千里—決定版』（二十六年二月十五日 亞東書房、『潜行二千里—第一部 内外篇』（二十七年十月二十日 東都書房、新装版・四十年七月二十日 毎日新聞社）、『ガダルカナル』（昭和二十五年九月一日、決定版・二十六年四月二十日 養徳社。再刊・四十一年九月二十日 河出書房「太平洋戦記」）、『シンガポール—運命の轉機』（昭和二十七年二月十一日 東西南北社）、『十人の將軍の最期』（合著・亞東書房編、昭和二十七年八月十五日 亞東書房）、『自衛同盟の主張』（昭和二十八年八月十五日 自衛同盟「同盟叢書」）、

『次の世界大戦—日本人の生きる道』（昭和二十年七月二十日 河出書房）、『中ソ心ごとく歩き』（昭和二十年十一月二十日 河出書房）、『一九六〇年—恐るべき冷戦の終末』（昭和二十一年十月二十日 東都書房）、『世界の火薬庫をのぞく』（昭和二十二年



和二十一年十月二十日 東都書房）

房）、『世界の火薬庫をのぞく』（昭和二十二年



四月十一日(東京都書房)、コズバリ直言一月口ケツトは革命する(昭和二十四年十一月(東京都書房)等。

文獻、杉森久英著『辻政信』(昭和二十八年九月)二十五日文藝春秋新社)、野田蘅著『辻政信は生きてゐる』(昭和四十二年四月)二十日宮川書房)、牛島秀彦著『謀略の秘図辻政信』(昭和五十三年十月)二十日毎日新聞社『ミツウ』の昭和史)、堀江芳孝著『辻政信』その人間像と行方』(昭和五十五年八月)二十一日恒文社)、田々宮英大郎著『参謀辻政信・伝奇』(昭和六十二年十月)十五日芙蓉書房)等。